

会 議 録

会議の名称	第1回 行田市水道事業運営審議会
開催日時	平成26年7月25日(金) 開会; 10時00分 ・ 閉会; 11時30分
開催場所	行田市水道庁舎 2階 第3会議室
出席委員氏名	吉田豊彦会長 岡野充甫副会長 栗原二郎委員 新井教弘委員 齋藤孝次委員 小林弘子委員 古田和子委員 中田 浩委員 中島伸浩委員
欠席委員氏名	野口啓造委員、松井 隆委員
事務局	小林都市整備部長 田島水道課長 黒澤主幹 野口主幹 岡戸主幹
会議内容	(1) 平成26年度予算の概要について (2) 平成26年度事業計画について (3) その他
会議資料	(資料名・概要等) ・「第1回行田市水道事業運営審議会資料」
その他必要事項	傍聴人 1名

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	1 開 会
都市整備部長	2 あいさつ 小林都市整備部長
	3 委員、職員自己紹介
議長	4 議 事
	※会議を「公開」することを決定
	(1)「平成 26 年度予算の概要について」
事務局	(資料に基づき事務局より説明)
	〔質疑応答〕
副会長	・ 新会計基準が導入され、説明しやすくなったか。
事務局	・ 今までの公営企業会計が独特だった。例えば特徴的なものとして
	企業債は借入金だが、以前は資本に含めていた。しかし新会計に
	なり負債に含めることとなり、一般企業会計と同様になり説明し
	やすくなったと思う。
議長	・ 3 条の収入及び支出だが、収益が 18 億 338 万 1 千円、費用が 15
	億 6,188 万円で差し引き 2 億 4,150 万 1 千円が簡単に言うと利益
	と考えてよいか。
事務局	・ 2 億 4,150 万 1 千円が利益となる。しかし、新会計基準になり、
	現金を伴わない長期前受金戻入という収益の科目もできたため
	に、実質はこれだけの利益とはならない。
議長	・ 市民にわかりやすく説明してほしい。
委員	・ 1 ページの第 2 条の有収率 91%の意味は。
事務局	・ 総配水量と料金を回収した水量の割合である。残りの 9%だが、
	火災の際消火栓で使用した場合や、漏水、工事の際に水道管を洗
	浄するための水として使用したものである。
副会長	・ 水道の蛇口からポタポタ垂れる水は水道メーターが回らないが、
	金額にすると結構な額になる。蛇口はきちんと締めなければ無駄
	になる。
委員	・ 水道料金の未収金について、何件でいくら位あるのか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・件数がわかる資料は今持っていないが、平成 25 年度末で、約 1 億 3 千万円である。企業会計は一般会計のように出納整理期間はなく、3 月 31 日で会計を閉めてしまうため、3 月分の水道料金が未収金になり、未収額が大きくなってしまう。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未収金を減らすために、どのような努力をしているのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1 年に 3 回臨宅徴収を行い、説明しながら集金を行っている。また、毎週火曜日の午後 7 時までと、毎月第 1 日曜日の 8 時 30 分から正午まで、納付窓口を開設している。さらに、月 2 回給水停止を実施し、訪問して水道料金の納付をお願いしている。回収できない場合は給水停止の措置をとっている。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が納めやすいように願います。このように努力した効果はどの位か。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨宅徴収した場合、10 万円から 30 万円を回収している現状である。</li> </ul>
議長	(2)「平成 26 年度事業計画について」
事務局	(資料に基づき事務局より説明)
	〔質疑応答〕
副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の補助金は平成 24 年度で打ち切られたものと違うものか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の補助金である。</li> </ul> <p>老朽管更新事業は古い石綿セメント管をダクタイル鋳鉄管に布設替するものだが、ダクタイルとは強靱という意味があり、鋳鉄管に比べて粘りがあり耐震性に優れた管である。現在はダクタイル鋳鉄管が主流であり、この管に布設替するものである。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽管更新工事をした結果、有収率は良くなっているのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有収率だが平成 24 年度は 90.11%、平成 25 年度は 90.51%と、0.4%向上している。有収率が上がったのは老朽管が減少したことにより、本管の大きな事故は激減している。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石綿とはアスベストのことだと思うが、アスベスト管を早く更新するよう国からの指示はあったのか。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国からは当初平成 11 年度までに石綿セメント管の更新を終わらせるよう指示があったが、各自治体も費用がかかることから更新を計画的に進めている。行田市も平成 27 年度には完了する予定である。石綿セメント管はアスベストを練り込んだ管で、鉄管より軽く扱いやすいことから、水道事業創設当時より全国的に多用されていたものである。アスベストは切断して粉が飛散しなければ健康上問題はないが、今後 2 年間でアスベスト管の更新は終了する計画で現在更新事業を行っている。</li> </ul>
副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岡野副会長より昭和 32 年に施行された水道法の沿革について説明があった。</li> </ul>
議長	<p>(3)「その他」について</p>
事務局	<p>① 行田市水道事業運営審議会条例の改正について</p>
事務局	<p>(資料に基づき事務局より説明)</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在市議会議員は 4 名審議会委員になっているが、改正により 1 名減となった。その時期だが、審議会委員の任期は平成 27 年 6 月 30 日までとなっているが、議員の任期満了は平成 27 年 4 月 30 日のため、議長が平成 27 年 4 月 30 日で退くことになる。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議長は平成 26 年 6 月 26 日に新たに就任したが、条例改正の施行日が 6 月 27 日だったため、引き続き議長には任期までお願いすることになる。</li> </ul>
事務局	<p>② 上下水道料金のコンビニ収納導入に向けた経緯と今後について</p>
事務局	<p>(資料に基づき事務局より説明)</p>
議長	<p>[質疑応答]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンビニ収納をやっていききたいとのことだが。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い人はコンビニを便利に使っている。働いている人が多いし、コンビニ収納はいいと思う。納めない人が減ると思うので、ぜひやるべきである。</li> </ul>
副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算では給水戸数は 32,160 戸となっているが、水道料金をどの位の世帯が口座振替で、どの位が納付書で納めているのか。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口座振替の1年間の件数は191,661件で、納付書での納付は7,174件である。このうち口座振替ができなかった人は、納付書の再発行、督促となるが、その件数が800件と見込んでいる。コンビニ収納を行うことにより、銀行や水道課窓口に行かなくても水道料金を支払うことができるため、便利になる。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンビニ収納を始めて水道料金の収納額が増えるとは限らないと思うが、経費についてどのように考えているのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンビニ収納を実施するにあたり経費が増加するため、実施した場合は、日曜日の納付窓口は経過措置をとった後に廃止する予定であり、経費節減に努めていきたい。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンビニ収納は何年度から実施するのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今は検討及び調整中だが、システム改修等も必要なため、早くて平成27年4月から、遅くても平成27年10月頃からは実施していきたいと考えている。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここで委員の皆様にお諮りしたい。 事務局にはコンビニ収納を実施していただくということよろしいか。</li> </ul>
<p>異議なし の声</p>	
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・審議会としてはコンビニ収納を前向きに検討していただくということで一致した。</li> </ul>
副会長	<p><b>5 閉会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・閉会の言葉</li> </ul>